

### 使命感と責任感を胸に 奥出雲町消防出初式



町内の消防団員が一同に会する「奥出雲町消防出初式」が一月十四日、町民体育館で行われました。

この日は、安部正教団長をはじめ、新入団員二十九人を含む五百七十人の団員が出動し、地域防災への意識を胸に、新年のスタートを切りました。式典では、各種表彰のほか、前布勢分団長の石原稔さんをはじめ、退団される二十七人の方に、永年の功労に対する感謝状が贈られました。式典の厳粛な雰囲気の中、

井上町長が「災害が複雑多様化する中で、本町のような中山間地域においては、消防団の役割が一層重要となってきた。使命感達成のため尽力してほしい」と式辞を述べました。

また、安部団長からは「消防団は、地域防災の主力を担っている。自らの地域は自らで守るという信念のもと、使命感と責任感のある活動を行ってほしい。また、奥出雲町で行われる今年の県大会では、成功に向けて全団員の協力と理解をお願いしたい」と訓示が述べられました。

式典終了後には、役場仁多庁舎前で、全団員が四十八台の消防車両とともに規律正しく力強い分列行進を披露したほか、斐伊川護岸道路では、無火災を祈る一斉放水が行われ、美しい十本の水のアーチを描きました。

なお、今年は奥出雲町において第五十六回島根県消防操法大会が行われ、ポンプ車の部に三沢分団が、小型ポンプの部に横田分団が出場します。

### 小中学生が ふるさと教育の成果を発表



▲発表の様子（横田小）

町内の小中学生が、総合的な学習の時間などで取り組んだ学習活動の成果を発表する「奥出雲町ふるさと教育フェスティバル」が一月二十二日、横田コミュニティセンターで開催され、小中学生や保護者、関係者など約二百五十人が参加しました。

第一部のステージ発表では、地元の自然や神話について調



▲活動の様子をパネルで紹介

べたことや、学校近くの川で行った環境調査の結果などについて、スライド、群読や劇などで趣向を凝らして発表を行いました。

第二部では、町内の小学校で行う稲作体験活動で学んだことについて、馬木、阿井、高尾の三小学校の代表と、各地区の稲作ボランティアなどをパネラーとしたシンポジウムが行われました。

「仁多米の秘密」と題したシンポジウムでは、児童が、活動の内容を発表するとともに、仁多米の味の良さやPR



▲シンポジウムの様子

方法など、活動を通じて考え、発見したことを互いに発表し合いました。

また、児童から「田んぼやお米のことをたくさん知っている地域の方々はすごいと思った」と活動を振り返ると、「たいへんなこと多いが、子どもたちの交流は楽しい」と話し、この活動が、児童の学習だけでなく、地域の活力につながっていることを改めて感じさせました。

フェスティバルを通じて、子どもたちの頑張りや活動の素晴らしさ、地域とのつながりの大切さを、参加者全員が再認識する有意義なイベントとなりました。

### 三井野原でスキー大会

一月二十九日、第四十五回陰陽三井野原スキー大会、第四十五回仁多郡スキー選手権大会、第四十二回仁多郡中学校スキー大会の三大会を兼ねた大会が、三井野原スキー場で開催されました。

競技は、スラロームとクロスカントリーの2種目が行われ、選手たちは、日頃の練習の成果を発揮しようと、懸命に滑っていました。



▲大会の様子（クロスカントリーの部）

### 大会結果 陰陽三井野原スキー大会 スラロームの部

- 【小学女子】 一位 長谷川美紅(三成小)
- 【小学男子】 一位 石原 秀真(八川小)
- 【中学男子】 一位 岸田 直之(JFSC)
- 【一般男子】 一位 前田 竜志(JFSC)
- 【中学女子】 一位 糸原 裕佳(横田中)
- 【中学男子】 一位 安部 雅史(横田中)

### 子どもたちが スーパーホッケーで交流



### 大会結果

- 【男子の部】 一位 八川サムライブルー(八川小)
- 二位 高尾クリーンファイターズ(高尾小)
- 三位 鳥上風神雷神(鳥上小)
- 馬木SHC(馬木小)

### 【女子の部】

- 一位 三成ガールズ∞(三成小)
- 二位 阿井小BATTLE ROCHER(阿井小)
- 三位 布勢小チェリーズ(布勢小)
- ターゲットリズムミカル(亀嵩小)

### 島根の食や観光をPR 島根ふるさとフェア2012

島根の特産品や伝統芸能などが一同に会する「島根ふるさとフェア2012」が一月二十一日、二十二日の二日間、広島県立総合体育館と隣接するハノーバー庭園で開催されました。

今回で十五回目となるこのフェアには、島根の名物を求めて、二日間で十八万人を超える来場者があり、活気に溢れていました。

奥出雲町からは、六団体が、出店、椎茸や舞茸などの特産品をはじめ、菓子、酒など奥出雲の味覚が販売され、店舗ブースの前には、商品を買求める長い行列ができていました。

また、観光情報を提供するブースにも多くの人が訪れ、二日間で奥出雲の魅力をPRしました。



▲賑わう会場